

相続発生前にできること

- 財産診断、納税資金の対策、相続税シミュレーション
- 生命保険の見直し
- 自社株評価、対策
- M & A
- 節税相談
- 不動産評価
- 生前贈与
- 遺言書作成
- 家族信託
- 現状把握
- 各種対策
- 将来予測シミュレーション など

相続発生後

通夜・葬儀後にしなければいけないこと

- 戸籍謄本等の取得
- 法定相続情報一覧図の作成
- 金融機関の手続き
- 死亡保険金等の受取手続き
- 年金事務所等の役所関係手続き
- 遺産の評価、鑑定
- 所有不動産の名義変更登記
- 遺産分割協議書の作成
- 遺言書の確認
- 債務、葬式費用の確認
- 所得税の準確定申告
- 名義預金、名義財産の確認

申告が必要な場合

(上記に加えて10カ月以内に)

- 相続税申告書の作成、申告書の提出
- 相続税納付
- 納税資金調達
- 税務調査立会(申告後) など

相続発生前後にはこんなにもやらなければいけないことがある。専門家への相談は必須



小樽市で80年以上の実績がある菊池洋一税理士行政書士事務所。弁護士や司法書士などの専門家とのネットワークも広くあらゆる問題にも万全の体制で対応できる

「親が亡くなってしまい、財産等の手続きが分からず困っている」「親が(自分が)高齢になってきて、元気なうちに何をしておかなければいけないかが分からない」。昨今、このような相続に関する問い合わせが増えてきている。相続や贈与について「複雑で難しい」「自分には関係ない」「面倒だ」と苦手意識を持ち、避けている人も多いはず。でも、相続は誰しもうれず必ず関わってくることで、対応しておかなければ大変なことになる。遺族間でもめ事になったり、税務署からの突然の連絡に慌てたり、「こんな

ことになるなら財産所有者が亡くなる前から考えていれば良かった」という後悔の声が多いのも事実だ。相続税の申告がない場合でも相続関係の手続きは非常に複雑になる。生前対策として「遺言書の作成」のほか、「家族信託」という新たな方法も注目されている(下図参考)。「相続は誰にでもあることです。相続発生後はもちろん、生前からもご自身とご家族の将来のために相続や税務のホームドクターとして、経験豊富な税理士を相談相手を持つことが大切です。まずはお気軽にご相談ください」と菊池所長は話す。

家族信託は自分も家族も安心できる一つの手段として注目されている



所長の菊池洋一氏は税理士・行政書士だけでなく、「家族信託専門士・コーディネーター」という民間資格も保有しているため、個々の状況に合わせて的確な提案をすることができる

相続・贈与相談センター小樽支部

電話：0120-35-0971
菊池洋一税理士・行政書士事務所
電話：0134-22-5111
小樽市色内2丁目18-10 坂田ビル
受付時間：9:00~17:00
メールアドレス：aspo@kikuchi-kaikei.com
定休日：土・日曜・祝日
※事前予約で土日祝も相談可能
駐車場完備
https://kikuchi-kaikei.com



「知らなかった」では済まない相続の問題 相続税や贈与税はもちろん関連する手続きもトータルサポート

みんなの暮らし、ささえます！

暮らしのミカタ

PICK UP!

私たちの街に、頼れるかかりつけのお医者さんがいるように、私たちの暮らしを助けてくれる人がたくさんいます。お困り事も、プロに任せて安心、すぐ解決、みんなの味方をご紹介します。



「利用者の満足を第一に考えながら」という理念のもと、利用者だけでなく家族や地域の人も生き生きと暮らせるような社会づくりを目指す「創生会グループ」。小樽市銭函にあるグループホーム「グッドケア・小樽」では利用者が安心して過ごせる環境づくりに注力している。

施設は平屋で共有スペースには天窓があり、明るい光が差し込み開放的な空間。1階に居室とリビングなど全ての生活空間があることで、利用者同士の交流を増やすことを目的としている。そして対面キッチン、段差がなく手すりのついた玄関など、自宅に近いアットホームな雰囲気が魅力の一つである。また、書道、レクリエーション、創作活動など毎日に楽しみを持てるよう豊富な施設内活動を行う。花見や外出ツアーなど季節の移り変わりを感ぜられる数多くの企画も実施している。楽しみながら機能訓練、リハビリを行い、入居者が自立した生活を送れることを目標にスタッフのサポートを提供する。

グッドケア・小樽

小樽市銭函3丁目297-5
電話：0134-62-1294
https://goodtimehome-north.com/area/others/#anchor08



日々の生活に彩りを 理想的環境で自立した生活を目指す



施設は平屋の造りで入居者やスタッフの交流が多いのが特徴。一人一人に心身に寄り添いながら、生活サポートを提供する。また、施設の裏にある札幌病院とも連携を図る



全18室の個室を完備。家具の持ち込みも可能で、これまでの生活のまま過ごすことができる



リビングなど共有スペースは明るく開放的な空間で、入居者同士のだらんスペースとなっている